

四半期報告書

(第70期第2四半期)

自 平成26年7月1日
至 平成26年9月30日

リバーエレクトック株式会社

山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号

目 次

表 紙	頁
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	5
(7) 議決権の状況	5
2 役員の状況	5
第4 経理の状況	6
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
2 その他	14
第二部 提出会社の保証会社等の情報	15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【四半期会計期間】	第70期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	（0551）22-1211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【最寄りの連絡場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	（0551）22-1211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第2四半期連結 累計期間	第70期 第2四半期連結 累計期間	第69期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	3,101,559	2,160,966	5,734,495
経常利益又は経常損失(△) (千円)	93,874	△413,628	△177,743
四半期純利益又は四半期(当期)純 損失(△) (千円)	84,905	△397,185	△236,710
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	219,772	△443,160	△41,914
純資産額 (千円)	3,337,159	2,617,507	3,068,039
総資産額 (千円)	8,358,866	7,358,166	7,694,590
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失金 額(△) (円)	11.52	△53.88	△32.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	39.9	35.6	39.9
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	745,236	219,243	425,434
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	115,286	72,606	126,198
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	△912,359	58,504	△868,611
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	695,985	786,659	448,986

回次	第69期 第2四半期連結 会計期間	第70期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 (△) (円)	△0.92	△20.96

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第69期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 第70期第2四半期連結累計期間及び第69期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善の兆しが見られる反面、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減からの回復が長引くなど、まだら模様での回復となっております。

当社グループが属する電子部品業界におきましては、民生機器向け需要は依然伸び悩んでいるものの、スマートフォンやタブレットといった移動体通信機器向けは中国向けを中心に好調な需要を持続しております。

このような環境のなかで当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,160,966千円（前年同期比30.3%減）、営業損失は416,674千円（前年同期は9,508千円の営業利益）、経常損失は413,628千円（同93,874千円の経常利益）、四半期純損失は397,185千円（同84,905千円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（水晶製品事業）

	前第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	前年同期比
売上高	3,060,513千円	2,126,111千円	△30.5%
経常利益又は損失（△）	98,710千円	△413,129千円	—

水晶製品事業は、スマートフォン向けはハイエンドタイプの需要鈍化や新機種の量産立ち上げの遅れなどから受注が大幅に減少しました。AV機器等の民生機器向けについても受注が振るわず、また、水晶デバイス市場が伸び悩むなか、市場競争の激化による販売価格の下落もあり、売上高は2,126,111千円（前年同期比30.5%減）となりました。損益面ではグループを挙げて変動費、固定費の削減に努めましたが、減収の影響が大きく、経常損失は413,129千円（前年同期は98,710千円の経常利益）となりました。

（その他の電子部品事業）

	前第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	前年同期比
売上高	41,046千円	34,855千円	△15.1%
経常損失（△）	△4,835千円	△499千円	—

その他の電子部品事業は、インダクタの生産終了等の影響により売上高は34,855千円（前年同期比15.1%減）となりましたが、固定費削減等により、経常損失は499千円（前年同期は4,835千円の経常損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の増加324,360千円、受取手形及び売掛金の減少76,162千円、仕掛品の減少108,531千円、機械装置及び運搬具の減少288,865千円、投資有価証券83,831千円の減少等により、前連結会計年度末から336,424千円減少し、7,358,166千円となりました。負債合計は支払手形及び買掛金の増加111,620千円、短期借入金の増加71,347千円、1年以内の長期借入金の増加41,364千円、長期未払金36,950千円の減少等により、前連結会計年度末から114,108千円増加し、4,740,659千円となりました。純資産合計は、利益剰余金の減少404,556千円、為替換算調整勘定32,225千円の減少等により、前連結会計年度末から450,532千円減少し、2,617,507千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ337,672千円増加し786,659千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は219,243千円（前年同期は745,236千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失391,815千円、減価償却費301,518千円、売上債権の減少53,216千円、たな卸資産の減少131,744千円、仕入債務の増加144,485千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は72,606千円（前年同期は115,286千円の獲得）となりました。これは主に定期預金の預入による支出448,944千円、定期預金による払戻による収入458,834千円、投資有価証券の売却による収入81,378千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は58,504千円（前年同期は912,359千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の増加（純額）75,868千円、長期借入による収入400,000千円、長期借入金の返済による支出349,908千円、長期未払金返済による支出37,447千円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は81,089千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数（株） （平成26年9月30日）	提出日現在発行数（株） （平成26年11月14日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,492,652	7,492,652	東京証券取引所 JASDAQ （スタンダード）	単元株式数 100株
計	7,492,652	7,492,652	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 （株）	発行済株式 総数残高 （株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金 増減額 （千円）	資本準備金 残高 （千円）
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	—	7,492,652	—	1,070,520	—	957,810

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
若光株式会社	山梨県韮崎市旭町上條北割2314	1,223,368	16.33
株式会社山梨中央銀行	山梨県甲府市丸の内1丁目20-8	268,000	3.58
若尾 富士男	栃木県宇都宮市	202,700	2.71
若尾 磯男	山梨県韮崎市	165,100	2.20
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行 株式会社)	東京都千代田区大手町1丁目5-5 (東京都中央区晴海1丁目8-12 晴 海アイランドトリトンスクエアオフィ スタワーZ棟)	150,000	2.00
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-10	136,200	1.82
若尾 亘	山梨県甲府市	128,158	1.71
リバー従業員持株会	山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1-11	127,243	1.70
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲2丁目10-17	120,000	1.60
若尾 政男	山梨県韮崎市	110,000	1.47
計	—	2,630,769	35.11

(注) 上記のほか、自己株式が121,222株あります。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 121,200	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,369,600	73,696	—
単元未満株式	普通株式 1,852	—	—
発行済株式総数	7,492,652	—	—
総株主の議決権	—	73,696	—

② 【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
リバーエレクトック株式会社	山梨県韮崎市富士見ヶ 丘二丁目1番11号	121,200	—	121,200	1.62
計	—	121,200	—	121,200	1.62

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成26年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	960,813	1,285,174
受取手形及び売掛金	1,257,727	1,181,565
商品及び製品	511,283	500,819
仕掛品	433,131	324,600
原材料及び貯蔵品	774,602	752,918
繰延税金資産	950	31
その他	153,167	126,474
貸倒引当金	△5,539	△5,699
流動資産合計	4,086,137	4,165,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	463,775	434,674
機械装置及び運搬具（純額）	2,309,470	2,020,605
工具、器具及び備品（純額）	63,325	52,548
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	13,519	11,005
建設仮勘定	12,172	21,303
有形固定資産合計	3,277,693	2,955,567
無形固定資産		
ソフトウェア	4,074	3,567
その他	11,206	10,257
無形固定資産合計	15,281	13,824
投資その他の資産		
投資有価証券	167,615	83,784
破産更生債権等	87,750	84,750
その他	151,512	142,655
貸倒引当金	△91,400	△88,300
投資その他の資産合計	315,478	222,890
固定資産合計	3,608,453	3,192,282
資産合計	7,694,590	7,358,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成26年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	487,096	598,717
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	1,086,703	1,158,050
1年内返済予定の長期借入金	639,204	680,568
賞与引当金	42,151	9,497
設備関係支払手形	58,674	58,762
その他	331,455	313,026
流動負債合計	2,685,285	2,858,623
固定負債		
社債	120,000	100,000
長期借入金	1,315,919	1,324,647
退職給付に係る負債	219,180	217,637
繰延税金負債	10,369	2,476
役員退職慰労引当金	109,380	109,800
長期未払金	158,089	121,138
その他	8,327	6,335
固定負債合計	1,941,265	1,882,035
負債合計	4,626,550	4,740,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,115,431	710,874
自己株式	△17,841	△17,841
株主資本合計	3,125,920	2,721,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,205	4,455
為替換算調整勘定	△76,086	△108,311
その他の包括利益累計額合計	△57,880	△103,856
純資産合計	3,068,039	2,617,507
負債純資産合計	7,694,590	7,358,166

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	3,101,559	2,160,966
売上原価	2,402,601	2,021,215
売上総利益	698,957	139,750
販売費及び一般管理費	※ 689,448	※ 556,425
営業利益又は営業損失 (△)	9,508	△416,674
営業外収益		
受取利息	876	609
受取配当金	1,267	1,434
為替差益	100,208	14,704
その他	4,414	6,098
営業外収益合計	106,767	22,846
営業外費用		
支払利息	16,129	14,428
社債利息	409	324
その他	5,863	5,048
営業外費用合計	22,402	19,801
経常利益又は経常損失 (△)	93,874	△413,628
特別利益		
固定資産売却益	—	954
投資有価証券売却益	—	15,599
受取保険金	—	5,389
特別利益合計	—	21,944
特別損失		
固定資産売却損	171	110
固定資産除却損	294	20
特別損失合計	465	130
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	93,408	△391,815
法人税、住民税及び事業税	20,693	4,452
法人税等調整額	△12,190	917
法人税等合計	8,503	5,369
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	84,905	△397,185
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	84,905	△397,185

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	84,905	△397,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,276	△13,750
為替換算調整勘定	122,590	△32,225
その他の包括利益合計	134,867	△45,975
四半期包括利益	219,772	△443,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,772	△443,160

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	93,408	△391,815
減価償却費	332,595	301,518
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	217
賞与引当金の増減額(△は減少)	107,556	△32,653
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△51	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,350	420
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△1,542
受取利息及び受取配当金	△2,127	△2,044
支払利息	16,539	14,752
為替差損益(△は益)	△26	△23
有形固定資産売却損益(△は益)	171	△843
有形固定資産除却損	294	20
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△15,599
受取保険金	—	△5,389
保険解約損益(△は益)	—	△1,157
売上債権の増減額(△は増加)	342,101	53,216
たな卸資産の増減額(△は増加)	△114,431	131,744
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,645	144,485
未収入金の増減額(△は増加)	27,341	3,755
未払金の増減額(△は減少)	△792	14,128
その他	64,215	16,079
小計	779,488	229,268
利息及び配当金の受取額	2,076	2,056
利息の支払額	△18,326	△14,296
法人税等の支払額	△18,003	△3,286
法人税等の還付額	—	111
保険金の受取額	—	5,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	745,236	219,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△490,983	△448,944
定期預金の払戻による収入	620,090	458,834
有形固定資産の取得による支出	△10,105	△16,798
有形固定資産の売却による収入	157	1,114
無形固定資産の取得による支出	△226	—
投資有価証券の取得による支出	△3,289	△3,101
投資有価証券の売却による収入	—	81,378
その他	△357	124
投資活動によるキャッシュ・フロー	115,286	72,606
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△232,479	75,868
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△557,207	△349,908
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	△14,427	△7,371
長期未払金の返済による支出	△85,506	△37,447
リース債務の返済による支出	△2,739	△2,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△912,359	58,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	42,120	△12,681
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,715	337,672
現金及び現金同等物の期首残高	705,701	448,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 695,985	※ 786,659

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
給与手当等	223,754千円	194,227千円
賞与引当金繰入額	39,039	4,447
退職給付費用	8,153	14,008
役員退職慰労引当金繰入額	7,350	4,280
研究開発費	97,459	81,089
減価償却費	10,026	9,796

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	1,278,485千円	1,285,174千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△582,499	△498,514
現金及び現金同等物	695,985	786,659

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	14,743千円	2円	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	7,371千円	1円	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	7,371千円	1円	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,060,513	41,046	3,101,559	3,101,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,060,513	41,046	3,101,559	3,101,559
セグメント利益又は損失 (△)	98,710	△4,835	93,874	93,874

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	93,874
四半期連結損益計算書の経常利益	93,874

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,126,111	34,855	2,160,966	2,160,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,126,111	34,855	2,160,966	2,160,966
セグメント損失 (△)	△413,129	△499	△413,628	△413,628

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△413,628
四半期連結損益計算書の経常損失 (△)	△413,628

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	11円52銭	△53円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	84,905	△397,185
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	84,905	△397,185
普通株式の期中平均株式数(株)	7,371,504	7,371,430

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月14日

リバーエレテック株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 岩渕 道男 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 會田 将之 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 天野 清彦 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリバーエレテック株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リバーエレテック株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役若尾富士男は、当社の第70期第2四半期（自平成26年7月1日 至平成26年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。